



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月2日

上場会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 上場取引所 東
コード番号 8242 URL <https://www.h2o-retailing.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒木 直也
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 吉松 宏之 (TEL) 06-6365-8120
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	495,464	4.3	22,184	134.0	23,919	105.4	17,772	62.2
2023年3月期第3四半期	474,896	27.9	9,481	—	11,642	478.5	10,957	△15.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 20,827百万円(△1.2%) 2023年3月期第3四半期 21,089百万円(68.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	153.94	152.64
2023年3月期第3四半期	89.93	89.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	719,149	287,555	36.5
2023年3月期	686,423	272,814	36.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 262,687百万円 2023年3月期 248,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2024年3月期	—	12.50	—		
2024年3月期(予想)				15.50	28.00

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2024年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 12円50銭 特別配当 3円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	683,000	8.7	24,500	115.1	26,000	99.9	18,000	9.9	156.22

(注1) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注2) 業績予想につきましては、本日(2024年2月2日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注3) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等による影響を除外した従前の基準での売上高に相当する総額売上高は、1,060,000百万円(対前期増減率8.2%)であります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	125,201,396株	2023年3月期	125,201,396株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	9,979,890株	2023年3月期	8,813,548株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	115,448,924株	2023年3月期3Q	121,851,187株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の状況	2
2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 経営成績の状況

▶売上高

当社グループの売上高は、495,464百万円（前期比104.3%）、収益認識に関する会計基準等による影響を除外した従前の基準での売上高に相当する総額売上高は801,639百万円（前期比109.1%）となりました。百貨店事業では円安や株高などの外部環境の好影響が継続したこともあり、国内消費は堅調に推移、インバウンド売上は大きく伸長しました。食品事業では点単価の上昇と客数の回復により既存店売上高が前年を上回り、連結全体で増収となりました。

▶営業利益及び経常利益

百貨店事業の売上伸長に伴う利益改善に、各セグメントでの増益も加わり、営業利益は22,184百万円（前期比234.0%）、経常利益は23,919百万円（前期比205.4%）といずれも第3四半期連結累計期間として過去最高となりました。

（百貨店事業）

好調な高額商材売上とコロナ禍からの回復に伴う入店客数の増加により、国内売上高は引き続き堅調に進捗しました。インバウンド売上高は円安の影響もあり過去最高となりました。

阪急本店では、全ての категорияが前年を上回って推移しました。化粧品を含めファッション全般が好調で、ジュエリーや時計、ラグジュアリーブランドファッション等が好調なインバウンド売上の押上げもあり引き続き伸長しています。

販売費及び一般管理費については、人件費やカード手数料などの売上に連動する費用が増加したものの、計画に対しては抑制しました。

以上の結果、総額売上高は424,663百万円（前期比116.3%）、営業利益は16,755百万円（前期比213.3%）となりました。

（食品事業）

食品事業は、総額売上高が323,633百万円（前期比102.6%）、営業利益は7,218百万円（前期比158.5%）となりました。

売上・粗利益率改善に向け、曜日販促による集客施策に加え、総菜・PB商品や重点販売商品の取り組みを強化しました。イズミヤ・阪急オアシス株式会社の既存店売上高前年同期比は104.0%（客数101.9%、客単価102.0%）、株式会社関西スーパーマーケットは104.4%（客数100.4%、客単価104.0%）となりました。両社ともに値上げの影響による客単価上昇と客数の回復により、既存店売上高は前年を上回って推移しました。

販売費及び一般管理費は生産性向上のため什器等の改善を実施し、要員体制の最適化などにより経費コントロールに努めたことで、計画を下回りました。

食品製造子会社は、株式会社阪急デリカアイや株式会社阪急ベーカリーにおいて、グループ外への卸販売と専門店売上が伸長し増益となり、宅配事業は株式会社阪急キッチンエール関西の新センター稼働と会員システムの変更影響により減収減益となりました。

（商業施設事業）

商業施設事業は、総額売上高24,384百万円（前期比88.7%）、営業利益2,928百万円（前期比174.2%）となりました。

ホテルを運営する株式会社大井開発では、ビジネス・観光ともに宿泊需要が回復し、機動的な価格施策と効率的な運営により客室稼働率が90%を超えて推移しました。

イズミヤのショッピングセンター運営と衣料品・住居関連品販売及びテナント管理を行う株式会社エイチ・ツー・オー 商業開発は、収益力強化、費用の適正化、地域との連携強化による差別化に取り組みました。イズミヤショッピングセンターの店舗閉鎖や直営売場の縮小により減収となったものの、経費の抑制やテナントの売上拡大に向けた取り組みや新規イベント区画の設置が計画以上に進捗するなど効率的な運営を進めています。

(その他事業)

その他事業は、総売上高28,958百万円（前期比108.8%）、営業利益1,419百万円（前期は営業損失2,318百万円）となりました。コロナ禍からの回復により専門店子会社が増収となり、持株会社である当社を除いたその他事業の子会社で354百万円の増益となりました。

▶親会社株主に帰属する四半期純利益

特別利益として百貨店旧配送センターの土地売却等で固定資産売却益4,421百万円を計上した一方で、阪急本店の改装や神戸阪急・高槻阪急のリモデル改装等に伴う固定資産除却損2,095百万円など特別損失を2,718百万円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は17,772百万円（前期比162.2%）となりました。

2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年度通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の結果及び足元の状況を踏まえて、以下の通りといたします。

(単位：百万円)

	通期
売上高	683,000
営業利益	24,500
経常利益	26,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	18,000

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,670	62,953
受取手形及び売掛金	68,572	89,472
商品及び製品	19,800	21,773
仕掛品	149	104
原材料及び貯蔵品	1,285	919
未収入金	8,055	11,228
その他	5,306	5,618
貸倒引当金	△430	△699
流動資産合計	161,408	191,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	125,783	127,261
機械装置及び運搬具（純額）	2,839	3,352
土地	162,665	159,578
建設仮勘定	1,465	715
その他（純額）	10,498	10,427
有形固定資産合計	303,253	301,335
無形固定資産		
のれん	1,690	1,310
その他	18,074	24,378
無形固定資産合計	19,764	25,688
投資その他の資産		
投資有価証券	101,249	101,970
長期貸付金	11,454	10,490
差入保証金	70,903	70,053
退職給付に係る資産	4,548	5,316
繰延税金資産	14,901	13,985
その他	1,683	1,639
貸倒引当金	△2,743	△2,701
投資その他の資産合計	201,997	200,754
固定資産合計	525,015	527,777
資産合計	686,423	719,149

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,674	93,064
1年内返済予定の長期借入金	15,350	5,350
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払金	27,877	28,994
リース債務	839	736
未払法人税等	5,395	3,667
商品券	8,908	9,239
前受金	32,820	33,932
賞与引当金	4,740	3,055
役員賞与引当金	109	105
店舗等閉鎖損失引当金	1,947	756
人事制度改編費用引当金	682	—
資産除去債務	570	143
その他	13,139	16,283
流動負債合計	176,055	205,330
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	143,917	143,580
長期末払金	325	187
リース債務	10,280	9,740
繰延税金負債	31,735	31,874
再評価に係る繰延税金負債	266	266
役員退職慰労引当金	207	189
商品券等回収引当金	3,247	3,436
長期預り保証金	10,572	10,378
退職給付に係る負債	13,028	12,781
資産除去債務	3,444	3,411
その他	526	417
固定負債合計	237,553	226,262
負債合計	413,608	431,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,796	17,796
資本剰余金	94,882	94,685
利益剰余金	105,473	120,350
自己株式	△11,938	△13,787
株主資本合計	206,213	219,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,925	42,648
土地再評価差額金	303	303
為替換算調整勘定	1,188	2,301
退職給付に係る調整累計額	△1,808	△1,610
その他の包括利益累計額合計	42,608	43,642
新株予約権	1,200	1,305
非支配株主持分	22,792	23,562
純資産合計	272,814	287,555
負債純資産合計	686,423	719,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	474,896	495,464
売上原価	274,704	279,627
売上総利益	200,191	215,837
販売費及び一般管理費	190,710	193,652
営業利益	9,481	22,184
営業外収益		
受取利息	414	234
受取配当金	1,114	1,049
諸債務整理益	715	680
為替差益	1,342	266
持分法による投資利益	—	469
その他	629	862
営業外収益合計	4,217	3,562
営業外費用		
支払利息	734	666
商品券等回収引当金繰入額	576	549
持分法による投資損失	300	—
その他	444	612
営業外費用合計	2,055	1,828
経常利益	11,642	23,919
特別利益		
固定資産売却益	4,974	4,421
投資有価証券売却益	3,819	—
助成金収入	63	—
特別利益合計	8,857	4,421
特別損失		
固定資産除却損	1,085	2,095
事務所移転費用	323	295
減損損失	—	166
店舗等閉鎖損失	1,405	161
新型コロナウイルス感染症による損失	405	—
投資有価証券評価損	303	—
開発中止損失	279	—
新店舗開業費用	102	—
特別損失合計	3,906	2,718
税金等調整前四半期純利益	16,594	25,621
法人税、住民税及び事業税	3,332	4,833
法人税等調整額	1,137	1,039
法人税等合計	4,469	5,872
四半期純利益	12,124	19,749
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,167	1,976
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,957	17,772

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	12,124	19,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,971	△230
為替換算調整勘定	576	401
退職給付に係る調整額	249	195
持分法適用会社に対する持分相当額	1,166	712
その他の包括利益合計	8,964	1,078
四半期包括利益	21,089	20,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,926	18,807
非支配株主に係る四半期包括利益	1,163	2,020

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店 事業	食品 事業	商業施設 事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	118,082	303,547	26,085	23,420	471,135	3,760	474,896
セグメント間の内部 売上高又は振替高	428	3,366	7,998	15,059	26,853	△26,853	—
計	118,510	306,914	34,083	38,479	497,988	△23,092	474,896
セグメント利益又は 損失(△)	7,854	4,555	1,681	△2,318	11,772	△2,291	9,481

(注) 1. 調整額は、セグメント間の内部取引の消去額及び事業セグメントで代理人取引として純額表示した外部顧客への売上高のうち連結決算では本人取引となる取引(セグメント間での消化仕入契約に基づく取引)の外部顧客への売上高を四半期連結損益計算書で総額表示に組替えるための調整額であります。

2. セグメント売上高及び利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上高、営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店 事業	食品 事業	商業施設 事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	132,770	310,967	23,088	25,632	492,458	3,006	495,464
セグメント間の内部 売上高又は振替高	472	2,174	7,747	19,863	30,258	△30,258	—
計	133,242	313,142	30,836	45,495	522,716	△27,251	495,464
セグメント利益	16,755	7,218	2,928	1,419	28,321	△6,137	22,184

(注) 1. 調整額は、セグメント間の内部取引の消去額及び事業セグメントで代理人取引として純額表示した外部顧客への売上高のうち連結決算では本人取引となる取引(セグメント間での消化仕入契約に基づく取引)の外部顧客への売上高を四半期連結損益計算書で総額表示に組替えるための調整額であります。

2. セグメント売上高及び利益は、四半期連結損益計算書の売上高、営業利益と調整を行っております。